

## 患者さんの状態を把握し、適切な評価と訓練を

皆さんは「食べる」ことはお好きでしょうか。「食べる」という行為は、多くの人を楽しみにしていることで、また、必要なエネルギーを摂取する重要な役割を果たしています。その食べる機能に障害が起こることを摂食・嚥下障害といい、主な症状として、食事中や食後によくむせたり、体重や尿量が減少したり、風邪ではないのに発熱が続いたりときさまざまな症状があります。脳卒中やパーキンソン病などの神経や筋肉の病気、または舌がんや喉頭がん、加齢などが原因とされています。

摂食・嚥下障害で生じる問題は肺炎や低栄養など命に関わるだけでなく、食べる楽しみを失ってしまうので精神的なダメージも受けます。そこで兼本副看護師長は、摂食・嚥下障害看護認定看護師として、患者さんが安全かつ楽しく食事ができるよう、患者さんの状態をしっかり把握し、医師や言語聴覚士と相談しながらその患者さんにあった訓練や食形態を考えているそうです。また、聴診器を使

### 摂食・嚥下障害看護認定看護師

兼本 ひろみ(かねもと ひろみ)  
副看護師長



って唾液や水がきちんと飲み込みができているか確認したり、レントゲン透視装置を使用して、飲み込みの様子を確認するVF(嚥下造影検査)を実施して、どの程度食事が可能なか検査を行い、無理のない食事を提供しているとのことです。退院する患者さんに対しても、適切な食事

方法を記載したパンフレットを渡すなど、サポートを行っています。兼本副看護師長は、患者さんに合わせた栄養投与法や食事のスタイルを確立することが重要と話をしてくれました。

「今後は、本院で唯一の摂食・嚥下障害看護認定看護師として、後に続く認定看護師を育成しつつ、全スタッフにも摂食・嚥下の知識を持ってもらえるように活動していきたいです。また、現在も、チーム医療として多職種と連携して治療に取り組んでいますが、さらに栄養士

を加え、患者さんの栄養面をサポートできるような体制を作り、チーム医療を充実させていきたいです。」(兼本副看護師長)



聴診器で飲み込み機能を確認

## 病院ボランティア大募集

特別な資格がなくても、「患者さんの役に立ちたい」と思っている方なら、どなたでもできます。徳島大学病院では、患者さんのサービス向上を図るため、病院内でのボランティア活動にご協力いただける方を募集しています。

### 主な活動内容

- 総合案内
  - ・院内施設の案内・受診手続きの補助
  - ・車いすでの搬送介助
- 患者図書室
  - ・図書の貸出、整理・病棟への移動貸出
- その他
  - ・病棟での患者さんの介助等(随時)

左記の活動以外でも、「こんなボランティアをしてみたい!」というご希望がありましたら、総務課までご相談ください。

■病院ボランティアに関するお問い合わせ  
徳島大学病院  
総務課 Tel.088-633-7011